

登録コード	J9010101	開講年度	2026				
授業科目	新入生ゼミナール				担当教員	関 利恵子	
英文授業名	Fresher's Seminar				副担当		
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・2時限		
講義室	経法402 演習室		授業区分	演習	遠隔授業科目		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				【授業の達成目標】		
	経法23加（2026改）・応用経済，経法23加・応用経済						
	【2020年度以降加付対象】専門領域での基礎知識として，経済学に基づく論理的思考法及び統計的分析手法を身につける。そして，経済理論の応用分野として，金融，公共政策，法や制度の経済分析をテーマとする3つの専門コースで，専門知識を具体的な問題解決に実践する力を身につける。				専門領域での基礎知識として，経済学に基づく論理的思考法を身につける。そして，レポート・論文の執筆技術や研究倫理の学びを通じて，専門知識を具体的な問題解決に実践する力を身につける。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	約20名程度の少人数クラスによる対話型授業を中心に、以下のような具体的な行動目標に沿って授業のねらいを達成していきます。 ・人権、環境、健康、情報など、社会生活全般に関する各種セミナーを受講する。 ・リサーチのために図書館の使い方を学ぶ（図書館利用ガイダンス等）。 ・調査テーマや自分の関心をもとに文献を調査する方法、文献リストの作成を学ぶ。 ・文献を正確に読む技術の習得とレジュメの作成方法を学ぶ。 ・グループワークによって、リサーチや整理を分担する。 ・グループおよびクラスでプレゼンテーションを行う。						
(5)授業計画	新入生ゼミナール は、上記概要に沿う形で、以下の通り順次実施されます。各種セミナーは経済学部または応用経済学科1年生全体での講義となります。詳細な日程・教室については、初回のガイダンス時に指示を行います。 1．講義内容ガイダンス及び自己紹介 2．図書館ガイダンス 3．各種セミナー（環境、健康など社会生活全般） 4．レポート・論文作成の基礎：文献検索、文献リスト作成、研究倫理教育、レジュメ作成など 5．プレゼンテーション 最終回のゼミではアンケートを実施します。						
(6)成績評価の方法	【授業の達成目標】の達成度を測るために、授業内での発表（プレゼンテーション、30%）と期末レポート（50%）で評価する。また、授業内での質疑応答（20%）も評価対象とする。 期末レポートの締切は、7月29日（水）を予定しています。						
(7)成績評価の基準	上記の成績評価に対して、プレゼンテーション・質疑応答・レポートに関して以下の視点で評価します。 (i) 問題の設定が適切であり、(ii) その問題の背景を説明できており、(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(iv) 自分の見解を提示できている。これら4つを満たし、かつ教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」、(i) から (iv)の4項目をおおよそ満たしていれば「かなり上にある」、3項目までできていれば「やや上にある」、2項目までできていれば「水準にある」と判断します。						
(8)事前事後学習の内容	事前学習：自発的に文献検索をしたり，文献をしっかり読み込み，プレゼンテーション資料・レポート作成をすること。 事後学習：プレゼンテーションでのコメント，もしくは返却されたレポートへのコメントをもとにプレゼンテーション資料・レポートをブラッシュアップすること。 この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って，60時間以上の時間外学習が必要となります。						
(9)履修上の注意	・第1回の授業においてガイダンスを行い、授業スケジュールを配布します。課題とプレゼンテーションの日程を確認し、各自のスケジュールを管理してください。 ・成績評価にも記した通り、演習形式の授業のため授業のすべてに参加するのが原則です。 ・無断欠席、正当な事由のない欠席は、それだけで「不可」の対象となります。 ・やむを得ず欠席しなければならない場合は、その事由がわかった段階で、必ずクラス担任の先生に電子メールで「事前連絡」を行ってください。 ・本ゼミナールは，後期開講の新入生ゼミナール との連続型授業です。新入生ゼミナールのシラバスも併せて読み、1年間を通した授業予定を頭に入れておいてください。						
(10)質問、相談への対応	個別の質問・相談等については，各担当教員の指示にしたがってください。						
【教科書】	指定しない						
【参考書】	1. 信州大学経済学部経済学科（編），『大学生が出会う経済・経営問題』，ISBN：978-4794431363，創						

【参考書】	成社，2012年，本体1,760円 2. 一橋大学経済学部（編），『教養としての経済学』，ISBN：978-4641164048，有斐閣，2013年，本体1,480円 3. 市村英彦・岡崎哲二・佐藤泰裕・松井彰彦（編），『経済学を味わう』，ISBN：978-4535559554，日本評論社，2020年，本体1,670円 授業開始後、1，2，3いずれの書籍を使用するか指定します。指示をよく聞いたうえで購入してください。
-------	--